

快挙！英語運用能力テスト **TOEFL Primary®**において

2年生2名が「世界の学習者上位7%」入り！

英語科において、12月6日（土）に岡山県内の国公立中学校で初となる、国際的な英語運用能力テスト **TOEFL Primary®**を実施しました。今回は **Step1**（英語初級学習者（英検5級未満～3級相当）対象）と **Step2**（英語で多少のコミュニケーションができる学習者（英検3級～2級相当）が対象）を合わせて1～3年の希望者41人が、本校教室を試験会場にリーディングとリスニングで受験しました。そして、今回 **10Badges** と呼ばれる「世界の小中学生受験者の中で上位7%に入るレベルの英語学習者」として、2年生の三好諒さんと松本真歩さんが高得点取得者として、米国 **ETS** 社から公式賞状を授与されました。三好さんは「受賞の知らせを聞いたとき、とても嬉しかった。今持っている力をさらに高め、英語を使って社会貢献ができるよう、これからも英語学習に意欲的に取り組みたい。」、松本さんは「受賞の実感はないけれど、そういう結果を出せて嬉しい。まだまだ知らない表現もたくさんあるので、日常的に使える自然な表現から社会的話題に対応できる高度な表現まで学んでいきたい。」という喜びの声を語ってくれました。今回は、受験を控えた3年生が別の試験と日程が重なってしまったため、1、2年生が主な受験者となりましたが、来年度以降も多くの生徒がこの受験機会を通して、自分の英語運用力を客観的に測り、英語学習へのさらなる動機づけの一助となることを期待しています。



※**TOEFL Primary®** は英語を母語としない世界の小中学生を主な対象としてデザインされており、英語運用能力の伸長や世界でどれぐらいの力かなどを知るだけでなく、より自然な表現を学べることも有意義なテストです。